



ロータリー：  
変化をもたらす

## 宇都宮ロータリークラブ会報

RIテーマ「ロータリー：変化をもたらす」

宇都宮ロータリーテーマ「一歩前に進みましょう」

第2550地区ガバナーテーマ「チャレンジ&イノベーション」

～挑戦と変革で切り拓く、第2550地区の未来～

2017～2018年度RI会長イアンH. S. ライスリー 宇都宮会長 印出井敏英

第2550地区ガバナー 太城敏之 幹事 飯村 悟

例会日 火曜日12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランテ 宇都宮市本町5-12

事務所 宇都宮市江野町1-12 榎木実業ビル2階 TEL 028-666-0555

E-mail u-rc01@silver.plala.or.jp FAX 028-666-0333

(2018)平成30年1月30日 No. 3230回 2017～2018年度(第26回会報)

### ビジター紹介（親睦活動委員会 矢治和之委員長）

宇都宮陽東ロータリー佐貫直通様、宇都宮陽東ロータリー平本明子様、宇都宮陽東ロータリー名村史絵様

### 会長挨拶（印出井敏英会長）



皆様、こんにちは。今日は少し温かくなり、体調はいかがでしょう？昨夕、ロータリー委員会、ロータリー財団、米山の委員会が開かれ、帰りに少し雪が降りましたが、心配したほど積もりませんでしたので安心をしております。今風邪特にインフルエンザが多くなっていますので、気を付けていただきたいと思います。

本日は、宇都宮陽東ロータリークラブの佐貫先生をはじめ3の方が、25周年記念の式典PRに見えておられます。なるべく多くの方のご出席を私の方からもお願いしたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

それから、会員の方に委嘱状が地区から届いております。岡崎会員、登壇をお願いいたします。

過日、パストガバナーの中谷先生から私宛に電話があり、岡崎会員と相談をしまして、受けさせていただきました。2018年から2019年度国際ロータリー第2550地区のRLI（ロータリー・リーダーシップ研究会）の委員を委嘱ということで、委嘱状が届いております。1年間、頑張ってください。以上でございます。

### 宇都宮陽東ロータリー 佐貫直通様



こんにちは。陽東ロータリークラブ25周年ということでキャラバンにまいりました。お手元のパンフレットにありますように、2月14日（水）、18時から1時間半 講演会と討論会を行います。健康と奉仕ということをして25周年のテーマに挙げましたが「この二つはくっつかないのじゃないかな」という意見をたくさん聞かれました。それが我々ロータリアンにとって必要なことかと思ひまして、意識的に「健康」と「奉仕」とくっつけました。

どういうことかということ、「健康」というのは皆さんご存知の通り、生きていくためには必要なことです。では何故「奉仕」がそこくっつくかということなのですが、我々ロータリアンは職業の代表ということでロータリーの中に入りまして、その自分の職業が、「奉仕」にどう関わりができるかということ、この

25周年の活動の一端というように考えまして、テーマを健康と奉仕という形でくっつけました。

それで去年から3回、2月14日で3回目になるのですが、この3回目で一般の方々が入るシンポジウムという形で、一般の方々も含めロータリアンに集まっていたいただき、ご意見をいただいたり、われわれの意見を聞いてもらったりということをお願ひしたいと思ひまして、参りました。

詳しいことは、このパンフレットに書いてありますが、第3回は環境・住宅、住宅環境も健康ということに結び付け、単なる建物だけではなくそこに関わるメンタル的なモノもということで、6人のパネリストを入れております。これは全部、我々のメンバーで、確かに学術的には「なんだ」と言うようにお感じになられるかと思いますが、その職業の中の代表の方々ということでご認識していただき、「職業奉仕による住環境」ということをテーマで行いたいと思ひます。是非ご出席を願ひしたく、陽東RCから本日は3人でまいりました。

この討論会が終わった後、有料になりますが懇親会を行い、そこで皆さんのご意見を多く聞きたく存じますので、よろしく願ひいたします。どうもありがとうございました。

### 幹事報告（飯村幹事）

先週、案内がありましたインターシティーミーティング（IM）に関して少しお時間をいただいて説明したいと思ひます。

入会3年目、3年未満の会員の皆様には、是非ともご参加いただきたく思ひます。宇都宮市内の近隣のクラブが集まり親睦を深めことを主目的として、相互の出会いを大切にし、知り合いを広め、ロータリー情報や意見を交換し、ロータリーの奉仕の理想とその実践を行うための意欲を盛り上げる会合ということになっております。3年未満の方は奮ってご参加をいただきたいと思ひます。

また、たくさんの人数で参加をしたいと思ひますので、ベテランの方はもちろんですが特に3年未満の方はその点を考慮いただき、ご出欠の返事をお願いいたします。今日・明日中に皆様の会社にご案内がファクスされますので、出欠の返事を事務局の方にお願ひいたします。

当日は幹事グループが受付にてお待ちをしております。会費は例年にならってクラブの方から全額出しますので当日お金は掛かりません。二次会のご自分でお払いいただきたいというふうに思ひますが。

先週、案内があり2月24日（土）は14時30分集合。その時間に受付に来ていただければ、プレートもすべて用意をしております。14時30分受付開始、点鐘、10クラブ会長によるフォーラム（印出井会長参加）、4時10分から細川佳代子様「スペシャルオリンピックスの魅力」ということでの講演会、第2部でミニコンサートを行いながら懇親会ということですので、たくさんの方にご参加いただきたいと思ひますので、よろしく願ひをします。以上です。

### ニコニコボックス委員会 小宮副委員長

本日のご奉仕の報告でございます。

奥様誕生祝：増淵好次郎会員

奥様誕生祝・本人誕生祝・結婚祝・会議出席祝：渡邊幸雄会員  
以上です。

## プログラム委員会 松本委員長



皆様、こんにちは。本日の卓話は会員卓話でございます。演題は新春恒例となりました「新春野村投資セミナーより、社会の変化×問われる真価」ということで、野村証券の宇都宮支店支店長 小池美源様にお話をいただきます。ご紹介するので何か経歴等の情報をくださいとお願いしたところ、あまりなくて平成26年4月より宇都宮支店長に就任、宇都宮着任より月平均5ラウンド回るほどのゴルフ好きというひとだけご紹介の情報を頂戴いたしました。それでは小池様、よろしくお願いいいたします。

## 小池美源会員



皆様、こんにちは。野村証券支店長 小池でございます。ゴルフ好きという今のコメントは私が書いた訳ではないのですが、私のイメージが、何か仕事もしないでゴルフばかりしているのではないかと。否定はしませんが、それだけではなく、ちゃんと仕事の方もさせていただいています。

今回で4回目ということになりました。毎年毎年やらせていただいておりますので、大体皆さんも流れは分かっているかもしれません。

これをやると、年初は相場が良い時が多いので、今年も非常に堅調な状態です。それから下がると皆様から、本当に嘘つき呼ばわりされる思いを結構するのです。

去年は何を言ったか、覚えている方がいらっしゃるかどうかわかりませんが、例えば、銘柄とか？藤井さん、私は何言ったか覚えていらっしゃいますか？

## 藤井会員

はい。当社は良いつて言わなかった。正しければ。ソニー。

## 小池美源会員

さすがでございます。素晴らしい。思い出していただきありがとうございました。藤井さんとはゴルフ場でしか滅多に会わないのですが、ハーフ30台で回られたときに、食事の場所で「ゴルフっていうのはさあ」とこう皆さんにこう力説されてた姿をですね、私は忘れられないのですが・・・

すいません。関係ないお話で申し訳ございませんでした。

まず資料の方ですが、こちらの野村新春投資セミナー、毎年申し上げていますが結構良い資料になっています。今年も大きいセミナーを、野村証券の場合は新春と夏でやるのですが、新春の方が一番充実した資料です。やはり1年間通して作ってこうというふうに思っていますので。

この資料の前半戦、実は 私は10日ぐらい前に1時間半かけて、同じセミナーをやっています。4ページを開いていただけますでしょうか。

中程に投資テーマと書いてあります。29 ページから、車の未来、生産性の改善、フィンテックですとかいろいろなデータが書いてあります。それぞれが真ん中辺から青いところを書いてありますので、皆様も経営されている方であり従業員の方も、多くいらっしゃると思いますので、社員に対してお話するや、お客様の会食の時等にその都度一瞥いただければと思います。我々は、これは「バイブル」として1年間通して使える資料になりうると思いますので、是非どこかに置いておいて「ああ、これってどんなことだったかな」という時にパッと開いていただきたい。あと海外に行かれる方、海外のことを考えられている方でしたら、後ろの方には各国経済のポイント等が細かく記載されておりますので、是非長く使っていただければと思います。

今年は「社会の変化×問われる真価」と名前で、左側が「社会のうねり」のようなものを表しており、右側がダイヤモンド＝光り輝くまあ真価の結晶を表しています。これからの時代を考えると、こういう真価が問われていくのではないかと、これを大きなテーマにしてあります。

資料の5・6 ページ目。ちょっと歴史観的な話になるのですが、昨年10月に日経平均が16連騰した事象が起きました。26年ぶりの高値という形で、よく新聞にも報道されました。

このページは、過去、連騰局面が起こった時に世の中で何が起こったのだろうかということを表しています。一番左の1950年代、朝鮮特需があり神武景気・岩戸景気の時に12連騰とかが繰り返行われました。このとき日本で何が起こっていたのかというと、その当時はあの三種の神器 テレビ・洗濯機・冷蔵庫といったものが出て、日本が貿易赤字の国だったところから一気に黒字に転換して行って、日本全体が大きく輸出型の経済に舵を切った時でその時にこういう連騰局面があった、まあ日本の変化が起こった時です。転換期があった時と言えらると思います。

次に真ん中辺にバブルに向かって、上がっていくところですね。86年に12連騰、次からまた13連騰というのが起こりました。この時は、中曽根さんが首相で、前の日銀総裁の前川さんという方が「前川レポート」というのを出しました。ここから大きく日本は内需型経済に舵を切るといった時です。この時に、週休二日制の導入等が行われたり、JR・NTTが民営化したりというようなことが行われた時期でした。

今回、こういう16連騰ということが起こり、日本もここから大きく変化を迎えていく時なのではないか、ということですね。

私も今回4回目なので、何回か聞いている方は、私は4年前ぐらいからこう新しいデータが出てきますよとか言ったと思うのです。「それって、何となく分かるけれども」って言っていたもの、ちょっと前までは、向こうの方で足音が聞こえてきたのが、今はドタドタと来て、本当に私たちの生活や会社の経営等に関わってくるような、真価が問われる時代になるのではないかと、これが大きな歴史感になります。

全部はお時間の関係で言えないので、次に相場のことを申します。9 ページの上段になります。

今年はどういう感じかということ、ここに「適温経済・適温相場」と書いてあります。全体的には割りとこういう感じなのではないかと。3つの安定と書いてあります。原油価格、今は少し跳ねて64ドルぐらいになっていますがある程度安定していくでしょう。金利も安定していくのではないかと。為替相場も今、若干円高ですけれども比較的安定していく。その中で、企業業績は過去最高を更新していくと。

今年はどう割と大きなうねりというか、そういう足元で動いているような感じですね。この3つの安定があるので比較的安定した相場になるのではないかというふうに全体論としては考えております。

マクロ経済の方は話していくとちょっと大変でつまらないと思いますが企業業績の方16ページ目の上の図をご覧ください。これは日本の製造業の売上と経常利益の推移ですが、これ見ていただくとお分かりのように、2007年リーマンショックの前の利益を越えてきている現状に今なっております。過去最高益更新中という形になっております。

株式相場というか景気自体について、私もよく社員に株価というのは分母に金利がきて、分子に業績がくると言います。分母が低くて分子が大きいときは、当然プライスが上がる訳です。そういった状況が足元でも起こっていますし、先ほど言った3つの安定っていうのが、今年の相場の全体的なテーマになると思います。

で、ここからは17ページ上の図になりますが社会の変化、すなわちここからどういふところが大きく変わっていくところなのかと。第4次産業革命ですとか、データ量が急増するとか、環境対応自動車増加ですとかいろいろありますけれども、まとめたビデオがございますので見ていただければと思います。

#### (ビデオ上映)

今年のビデオはちょっと大人しめのビデオにはなっています。例えば17ページ下の図にあるデータ通信量の急増。これはNTT東日本の村田さんもいらっしゃるのですが、そちらがご専門ですが。2015年から2018年の約3年間で倍増、さらに21年にかけてここから6年間で4倍とまさにここから伸びていきます。当然ビデオ動画とかですね。

映画等はデータ容量が多いし、自動運転や警備監視とかこれからどんどん動画が増えていく中で通信量をもっと増えるでしょう。また先ほど見ていただいた5Gとか量子コンピューターとかもこれからまだまだ伸びていく予想になっています。

自動車が(18ページ上)青いチャートが下から伸びているのが環境対応車の比率ですが、皆さんもご存じのように、ハイブリッド車や電気自動車等も出てきていますが。実際、足元でみると2017年で世界の販売台数のまだ4パーセントしかない。2020年になっても、まだ10パーセントしかないということです。

これから、こうした自動車とか社会を変えていく新しいものが、ここから大幅な上昇が見込まれます。ここから本当にスタートということですね、こうしたことを新たに認識していただいた方がいいと思います。

19ページ目に、米国主要金融機関のオンラインバンキングサービスユーザー数推移があります。俗に言われるフィンテックと言われるものですが、今コインチェックのNEMがかなりの問題になっておりますが、日本は非常にキャッシュで動く国なのでですね。あのフランスは既にモバイルでもう60パーセントぐらい決済をしています。皆様の会社でも、決済って必ずどっかでくっついてくるわけで、これから益々モバイル化していきます。

アメリカの金融機関の支店の数は、実を言うと2015年から2016年にかけて3.5~4%減りはじめています。逆に日本はその間、2%弱ぐらい増えています。ただ一方で新聞報道にもありましたが、みずほ銀行が2026年まで10年間かけて1万9000人、三菱UFJが2023年までに9500人、三井住友も3年間で4000人とリストラをやって

いくこととなります。キャッシュも無くなり、そうすると店舗はあるのが良いのかどうかといったことも問われてきます。お金の流れというのは、実は皆様の生活や、会社の運営であり、大きく変わる可能性が非常にあるのではないかと思います。

あと訪日外国人ですが、これは毎回言っているのですが、今年は2869万人4.4兆円使いました。中国人の爆買等は無くなったということなのですが、東照宮の来訪者も250万人突破しました。過去最高は312万人でしたよね。ここ栃木県下でも（訪日外国人）をだいたい見るようになったかもしれません。以前HIS傘下のハウステンボスが運営している、ロボットがやっている「変なホテル」というのがあったと思います。あのころはまだあそこ1ヵ所だったのですが、2月1日に銀座にも出てきますし、HISの澤田さんはこれを1000棟ぐらい作るよと言っているぐらいです。外国人からしてみると「なんでカードが使えないのだ」とか「モバイルが使えないのだ」となってくるから、そういったところも含めて、ビジネス的にチャンスになるような大きな変化なのではないかと思います。

少し飛ばしまして金融資産の内訳の話をしていただくと、21ページ目上段になりますが、これは日本の家計の金融資産内訳になります。22ページ目上段に、アメリカの家計の金融資産内訳が出ています。

アメリカを見ていただくと分かりますが、株式の割合が36.5%、年金が29%。アメリカ人はDC（確定拠出年金）で株とか投信を積み立ててきます。ニューヨークダウとかですね。今、日経平均高値と言っていますけれども、26年前にニューヨークダウを買っていたら、指数でもう約8倍になっています。ナスダックは12倍になっています。あのアマゾン・ドット・コムは3ドルとか4ドルだったのが、今、1300ドルとかになっていますので。そういったところですね。

アメリカがすべて良いとは言いませんけれども、やはりこれだけ日本が変わっていく中で、このポートフォリオで本当に良いのでしょうか？ということですね。

21ページの下段、これは累積リターンですね。見ていただきたいのは公的年金の市場運用。我々がもらう年金が今、実は裏側では株式で約50%運用しています。日本・海外の株式で50%。海外の債券で15%、日本の債券は35%というポートフォリオで今、運用しています。当然、株は上がったりが下がりがあるので、上がったところで買って、下がったところで売れば当然マイナスが出るのです。例えば個人の方で株はやってないよっていう方でも、裏側では我々が一生懸命運用をやっていますよ、ということを見ると、もう少しこうした資産配分比率っていうものをやはり考える時期にきていると思っています。

時間がだいぶ押してきましたが、23ページの下段。各企業が構造変化という観点でどう取組み、どう注目されるのだろうかということですね。これ富士フィルムHDとパナソニックを書いてあります。これは、まあ昔と比べたら事業構造が大きく変わりましたということですね。あの、富士フィルムHDはご存知のように、「写るんです」という携帯用のカメラがあり、あのときにもう一社、コダックがあったと思います。コダックは実を言うと、もうつぶれました。富士フィルムHDはそのフィルム需要がなくなっていく中で、ご存知のようにヘルスケア関連等こういったところに大きく舵を切っていました。今はゼロックスの問題があって株価的には、そんな上がってないのですが、2019年まで5000億円のM&Aをやりますというのも出しています。変革がうまくいった企業の1つの一例だと思います。右はパナソニックで、これは2000年



中盤ぐらいに、プラズマディスプレイで世界ナンバーワンになってテレビ事業で儲かっていたわけですが、今はご存知のようにこの蓄電・・・蓄電はテスラモーターですね、リチウムイオン電池・・・世界ナンバーワンの会社になっていますね、あとは家電・・・ルームエアコン等 こういう面で大きく売上高の構成が変わってきたという会社になります。

あとはトヨタ。かつてカローラ等のマイカーブームがありました、90年代に入って先ほど述べたハイブリッド車・電気自動車に取組み、今度は AI 研究所というのを作ったりしております。

自社株買いも 2500 億円を昨年発表しており、中長期的に見れば配当も 2.7 ぐらいありますので、こういう変わっていく企業というのは長い目で見て注目される企業なのかなと思います。

(25 ページ上段) 先ほど少し述べましたが米国株式市場の時価総額上位企業の変遷ですが、アルファベットというのはグーグルのことですが、10 年前は上場していませんでしたが、今は時価総額で 2 位になっています。

アマゾン・ドット・コムも典型的なパターン。フェイスブックは当然 10 年前にも上場もしてなかったが今第 5 位と、大きくドラスティックにこれは変わっています。

株価予想というのも一応言わないといけないので、当社としてはあの業績の推移とさっき言った 3 つの安定ということから考えると今年、一応、2 万 5500 円というのを中心値に据えております。為替は 120 円目指して動いていくのかなと。若干の円安という感じで、マーケットの方は考えております。

最後になりますけれども、職場積み立て NISA というのを、お手元の資料に入れさせていただきました。これは皆さんにとっては「人」の問題はこれから非常に大きくなると思います従業員の福利厚生の一環としてこういうのを使ったらどうかということです。

実際に栃木県の会社で、会社から補助を出して、社員の方々が積立の投資をやっているというのがあります。

先ほど、あの日本とアメリカの金融資産の内訳を出しましたが、やはり世の中こうやって変わっていく中で、今こういう状態にもなっております。お付き合いの金融機関や、証券会社あればそちらで。まあできれば野村証券でやっていただきたいですけれども・・・。金融資産の中にポートフォリオ組んで組み入れていくことが、やはり社会の変化を、皆さんが個人として実感できる。従業員の方が実感できるためにも必要な戦略なのかなと思いますので、もしご興味あれば、お声掛けていただければと思います。

すいません。少し時間オーバーして申し訳ございませんでした。

来年も（卓話が）できることを祈っております。どうもありがとうございました。

## 今日の食事



- ・豚スタミナ焼き
- ・ポテトサラダ
- ・ご飯
- ・味噌汁
- ・香の物

会報委員 渡邊 肇  
写 真後藤 裕通